

21 古典を読もう ～「枕草子」第一段～

古典の学習において、文語的な言葉や表現に触れることは、現在使われている言葉の表現や意味や用法をよりよく理解することにつながる。また、古典の学習は、日本の文化や伝統について関心を深める契機にもなる。本単元では、「枕草子」の第一段を取り上げることによって、四季に関する日本の伝統的なものの見方や考え方に触れさせることが可能となる。このことを理解することは、俳句や短歌、詩などはもちろんのこと、小説や随筆などの文学的な文章の理解にも役に立つ。JSLの生徒にとって古典は難しいかも知れないが、音読を通して古典の持つ文語的な日本語独自のリズムに慣れ、文章の内容や優れた表現に親しませることができる。

日本で育った子ども同士もそれぞれのものの感じ方がある。同じように、外国からの子どもたちはそれぞれのものの感じ方を持っている。それらを「季節」を題材として、お互いの違いを認め合い、お互いの違いを共有できる集団を育てていきたい。

- 1 領域 読むこと
- 2 教材 「枕草子」第一段
- 3 目標
 - ・音読を通して古文のリズムに慣れ、内容や表現に親しむ。
 - ・日本の古人の季節に対する見方・感じ方を理解する。
- 4 指導時間 4時間
- 5 指導形態 在籍学級（TT入り込み）
- 6 指導事項 ・言語スキル

| 領域 | 指導事項 | 言語スキル |
|------|---|---|
| 読むこと | <p>【表現の仕方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現の仕方や文章の特徴に注意して読む。 <p>【ものの見方や考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節に対する伝統的なものの見方や考え方を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・音読することによって、文章のリズムや響きを感じることができる。 ・文章表現の美しさ、豊かさに気付くことができる。 ・筆者が季節ごとのどんなところに感動しているか、読み取ることができる。 ・筆者の考えと自分の考えの共通点・相違点が見つけられる。 |

| | | |
|------|--|--|
| 言語事項 | <p>【語彙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話や文章の中の語彙について関心を持つ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・古典における季節を表す語彙や語句に注意し、ものの見方や考え方を広げることができる。 |
|------|--|--|

7 学習指導案

| | 学習活動 | 伸ばしたい言語スキル | 学習支援・指導と学習材 |
|---------------------------|---|--|---|
| 1 次 1 時 間 | <p>1. 1グループ4名で自分の季節感について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「春」「夏」「秋」「冬」の季節で自分が一番いいなあとと思う季節を思い浮かべる。 ・その季節への「こだわり」を心に思い浮かべ、4人で発表し合う。 <p>2. いくつか（あるいは全部）のグループの代表がグループの話し合いの内容を発表する。 (個人として発表していてもよい。)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・経験を振り返り、季節を表す語彙・語句を想起することができる。 ・自分の考えと照らし合わせながら、仲間の考えを聞くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・4名でグループ学習を行う。 ・その季節への「こだわり」(なぜいいのか)を話すことによって、自分のものの見方や考え方を広げさせる。 |
| 2 次 3 時 間 | <p>○いろいろな方法で音読をし、古文の表現に親しむ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指導者の音読の後について音読の練習をする。 2. 句読点に注意して繰り返し音読する。 3. 歴史的仮名遣いを確認する。 <p>○古典に見られる日本の伝統的なものの見方、感じ</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・古文のリズムを感じることができる。 ・歴史的仮名遣いについて知ることができる。 ・自分の経験に基づく季節感と、日本の古典における季節感 | <p>★読みにくい漢字にルビを振ったり、助詞や助動詞、意味を補ったりした音読用の教材を用意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いになおす支援をする。 ・ワークシートを用意する。 ・各段落の最初の文に注目させる。 |

| | | |
|--|--|---|
| <p>方を学び、自分の季節に対する感じ方や考え方と比べながら理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代語訳を読んで内容を知る。 ・ワークシートにしたがって学習を進める。 ・清少納言がそれぞれの季節でとてもいいと言っているのは一日のいつであるか、読み取る。 ・それぞれの具体的内容について読み取る。 ・表にして整理する。 <p>○意味を考えながら音読を重ね、好きな季節の部分を暗唱する。</p> | <p>を比べることができ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワードを探することができる。 ・ポイントを押さえて分かりやすくまとめることができる。 ・古文のリズムを意識しながら音読することができる。 | <p>「～は・・・がいい。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★イメージしやすいように生徒が質問してきた分かりにくいことばについて説明する。 ★主語を示す助詞「が」の省略が多いことや主語を表す「の」の使い方について説明する。 <p>・様々な方法で何度も音読させる。</p> |
|--|--|---|

「枕草子」学習プリント

| 冬 | 秋 | 夏 | 春 | |
|---|---|---|---|-----------------------|
| | | | | を か し |
| | | | | 具 体 的 内 容 |

「枕草子」学習プリント

| 冬 | 秋 | 夏 | 春 | |
|--|---|---|--|----------------------------------|
| <p>早朝</p> | <p>日没後 夕暮れ</p> | <p>夜</p> | <p>明け方 あけぼの</p> | <p>を か し</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 雪が降った朝 ・ 霜が降りた朝 ・ 寒さのきびしい朝、女官たちが炭を持って宮中の廊下を渡っていくさま | <ul style="list-style-type: none"> ・ 風之音 虫の音 ・ 雁が列を作って飛んでいくさま ・ 雁が列を作って飛んでいくさま ・ 雁が列を作って飛んでいくさま | <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨の夜 ・ やみの夜―ほたる ・ 月が出ている夜 <p>多く飛んでいるさま 一匹、二匹が飛んでいるさま</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 白んできた山ぎわに紫がかった雲が細くたなびくさま | <p>具 体 的 内 容</p> |

